

羅 針 盤			第1回 点検・評価			第2回 点検・評価						
評価対象	評価項目	具体的数値項目	方 策			自己評価	外部アンケート	改善策	自己評価	外部アンケート	改善策	
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 学系別くり募集を導入し、生徒のニーズに対応した教育を実践していますか。	① 自分の学校が好きだと感じている生徒が80%以上である。	希望するコースに進めるよう、入学時からアンケートや個人面談等を実施し、きめ細かい指導を繰り返し行うことにより目標をしっかりと定めて学校生活を送れるようにします。	A	A	引き続き、生徒との信頼関係を深め、充実した学校生活を送れるようにします。	A	B	A	B	学校の教育目標を常に意識した指導を心がけ生徒とのコミュニケーションをより密にしていきたいと思います。	
	2 生徒の主体的な学びを引き出す課題研究を行っていますか。	② 学系、コースの学習活動に対して、主体的に取り組めたと自己評価し、かつ満足感を持つ生徒が80%以上である。 ③ 生徒が学習や研究の成果を発表できる機会を年1回以上設定し、コミュニケーション能力を備えた社会人の育成を目指し、達成感を持つ生徒が80%以上である。	地域社会の行事に積極的に参加させ、地域とかかわることにより、課題を見つけ出させ、解決方法を考えさせ、解決に結びつけます。 学習成果発表会や、課題研究発表会などを全校で実施し、校外の発表会などにも積極的に参加させ、生徒のプレゼンテーションの機会を増やしその能力を高めるよう支援します。	B	A	取り組みに消極的な生徒への働きかけを、多くしていきます。 生徒代表の発表が様々な場面であり、他の生徒も現在研究を進めています。今後、そのためのための指導に取り組みます。	A	A	A	B	コースの特長を生かした、地域交流やボランティア活動への参加など、より積極的に取り組みます。 学習活動におけるレポートや実習手帳などにまとめ指導を進展させ、課題研究やプロジェクト研究へ結びつけます。	
	3 主体的な進路選択を実施するために、進路セミナーや職場見学を積極的に取り入れていますか。	④ 進路セミナーや企業又は上級学校の見学を実施し、進路意識が高まったと感じる生徒が80%以上である。	企業見学や学校見学を有効なものとするために、見学のための事前指導を行い、見学のポイントやワークシートなどを提供します。また、外部講師による進路セミナー等を実施し、進路意識の高揚をはかります。	A	A	進路意識が高まったと答える生徒が77% (3年生91%)であり、進路意識の向上が図れています。今後は1、2年生に対する指導をLHRや総合的な学習の時間を利用して強化していきたいです。	A	A	A	A	1、2年生に対する個別面談の機会及び面談資料等の充実を図り、早い時期からの進路意識の向上を目指します。	
	4 地元企業や地域と連携し学校外実習や体験学習を積極的に実施していますか。	⑤ 利根実版デュアルシステムや、長期現場実習、小中学校との交流活動・出前授業などに満足感を持つ生徒が80%以上である。	地域との連携を図り企業実習や農家実習を行います。また、地域の幼小中学校や特別支援学校等と交流を深め、徳育教育への取り組みや言語活動を意図的・計画的に取り入れていきます。	A	A	引き続き、地域貢献活動を継続させ、新たな取り組みにも積極的にチャレンジして行きます。	A	A	A	A	A	一人ひとりの生徒が、地域貢献の意義を理解し自ら積極的に働きかけができる生徒の育成を目指します。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	5 基礎・基本の定着を図る指導が充実していますか。	⑥ 授業が理解でき、学習に対する満足感・達成感を持つ生徒が80%以上である。 ⑦ 授業時間以外に、予習や復習に取り組む学習時間がある生徒が50%以上である。	多くの普通科目において、習熟度別学習、少人数学習、選択学習を導入し、生徒一人ひとりに指導の手が入りやすい授業を行います。また、授業展開で生徒が自己有用感や自己肯定感を感じる場面を多く設定します。 授業時間外における学び直し学習や、学期ごとの基礎学力テストなどの企画・設定などにより、日頃から学習する習慣や態度を養います。	B	A	全ての生徒が、学ぶ喜びを実感できるよう、常に指導法の改善を図り、きめ細かな学習指導に取り組みます。	B	A	B	A	ステップアップサポート事業を充実させ職員研修を増やし、教師の指導力を高める取り組みを推進します。	
	6 資格取得に積極的に取り組んでいますか。	⑧ 各種検定や、資格取得に取り組む生徒が全体生徒の80%以上である。	必須で検定に取り組んだり、積極的に受検者を募集し必要に応じ補習や補講を計画し合格への支援を行います。	C	C	家庭学習の定着を目指し、取り組みやすい課題を設定します。	B	C	B	C	日頃の授業以外での指導を充実させることにより家庭学習の時間増を目指します。	
	7 組織的・継続的な生徒指導を行っていますか。	⑨ 問題行動で指導される生徒が前年度比の50%以下である。 ⑩ 不登校や転学者、退学者が前年比の50%以下である。 ⑪ いじめ発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	週1回の学年会議、月1回の生徒指導会議を開催し、生徒の情報を共有し職員の間で共通理解を図つたうえで、一人ひとりの生徒に対応した段階的な指導を実施します。頭髪・服装指導は学年団を中心に徹底指導します。また、挨拶・身だしなみ・遅刻指導を中心に毎朝校門指導を実施し、改善が必要な生徒にはその場で指導します。 学習活動や学校行事、部活動等の一層の活性化を図り、生徒が自己有用感や自己肯定感を感じる場面をより多く設定します。また、特別支援及び教育相談の会議を定例化し生徒の情報を共有するとともに、特別支援コーディネーターやスクールカウンセラーを中心に問題を抱えた生徒を支援する体制を強化します。 いじめ防止対策係を中心に、いじめ問題の未然防止、早期発見・解消に向けて組織的に取り組みます。	B	A	問題行動で指導される生徒は減少傾向にあります。今後も積極的な生徒指導を意識した未然防止策を検討し、実施します。	B	A	B	A	多くの先生方の協力により、問題行動は減少しました。学年主任と生徒指導主事の会議も実施することができました。今後も全職員が共通理解のもと生徒指導を進めていくためにも同会議を実施するようにします。	
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	8 日常的に生徒が自分自身の健康管理を行っていますか。	⑫ 自分自身の不注意により、怪我をする生徒や体調不良を訴える生徒を、前年比の90%以下にする。	「保健だより」を発行し、怪我の予防や健康管理について理解を深めます。	A	A	引き続き「保健だより」等で生徒への情報提供を行うとともに、職員間の連携を密にし、生徒の状態を共有しながら対応していきます。	A	A	A	A	保健室利用者は、1日平均4.3人でした。引き続き丁寧な問診に努めます。	
	9 生徒は規則正しい学校生活を送っていますか。	⑬ 1カ年皆勤者が生徒数の30%以上である。	家庭との連携を密にし、基本的な生活習慣の確立を図ることで欠席、遅刻、早退を減少させます。	B	B	基本的な生活習慣の確立を図ることで欠席、遅刻、早退の未然防止に力を入れます。	B	B	B	B	保護者や先生方から出された生徒指導に関する意見を反映させ、さらに共通理解が得られる方向で生徒指導を進めていきます。	
	10 生徒の健康状態に対する適切な指導を行っていますか。	⑭ 治療勧告を受けた生徒のうち、早期に専門医による治療や検査を受ける生徒が50%以上である。	各種検診の終了後、速やかに保護者あてに受診のすすめを配布し、生徒の受診を促します。	B	B	保護者会等で治療を勧めるとともに、治療の状況を把握できるよう、管理表をつくり指導に取り組みます。	B	B	B	B	保護者に受診をお願いする機会を設けることができました。引き続き、速やかな受診勧告書の配布を行い、受診を勧めます。	
	11 充実した部活動が行われていますか。	⑮ 部活動に加入している生徒が80%以上で、その活動に満足している生徒が80%以上である。	掲示板の設置等で部員の増加に努め、週1回「部活動の日」を設け、職員が部活指導しやすい体制づくりに努めます。	B	B	対外試合や校外発表などの機会を増やし、目標を持たせることで、生徒の奮起を促します。	A	A	A	A	より多くの部活動を活性化させ、前向きな生徒を増やし、学校全体の明るい雰囲気作りにつなげます。	
	IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	12 3カ年を通して系統的で計画的な指導を行い、生徒の希望に則した進路実現ができましたか。	⑯ 進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。 ⑰ 生徒の将来の志望について理解している保護者が80%以上である。 ⑱ 就職希望者の90%以上が年末までに採用内定する。進学希望者については、十分な学校研究を行わせ、出願した大学等に全員合格する。	総合的な学習の時間やHR活動を通じ、「自己の在り方・生き方」と「将来の職業」との関連を幅広く考えさせる機会を設定し進路に対する意識の高揚を図ります。また、企業等職業人などの外部講師による進路ガイダンスを開き、進路実現に向けての心構えを育成します。 保護者向け進路ガイダンスを実施するなど、保護者と生徒で進路を考える機会を定期的に設けます。 5月に教職員による企業等訪問を実施し情報を収集します。大学・看護系進学希望者には進学対策の補講を実施します。	A	B	1、2年生に対する企業などの外部講師を活用したセミナー等を計画しており、さらに進路に向けた心構えの育成を図ります。	B	A	B	A	進路行事での振り返りなどの事後指導を充実させることで、日頃の学校生活における進路に向けた意識を育成していきます。
		13 適切な進路情報を提供していますか。	⑲ 進路の手引きを年1回、進路だよりを定期的に発行する。 ⑳ 学校からの進路に関する配布物に目を通している保護者が80%以上である。	就職や進学の最新の状況、学校での進路行事の様子などを進路だよりとして提供します。 保護者会などで適切な資料を配付します。また、進路に関して関心のあることをアンケートで調査して提供資料に反映させます。	A	A	保護者と話し合えるような進路情報の提供方法を計画します。	A	A	A	A	保護者会などを利用した進路情報の提供を充実させていきます。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。		14 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	㉑ 学校行事(PTA総会、学年別保護者会、学習成果発表会、学校公開)に積極的に参加する保護者が60%以上である。 ㉒ インターネットを活用した情報発信を月1回以上実施する。	PTA総会や学校公開などの学校行事を休日に実施するなど、保護者が参加しやすい環境を整えます。 Webページ更新や、メール連絡網の活用などを実施し、最新情報を発信します。	A	A	保護者の方が、参加して良かったと思える学校行事になるよう、魅力ある内容を計画します。 フットワークを軽くし、タイムリーな情報を届けられるよう一層努力します。	A	A	A	A	文化祭や文化クラブ発表会、収納祭など本校の特色ある行事に保護者の参加を促します。
	15 家庭、地域社会の教育力を活用していますか。	㉓ 地域の教育力を積極的に活用し、保護者や地域社会の方を講師とした講演会などを年3回実施する。	全校や学年単位で社会人講師による授業を計画的かつ積極的に実施します。	A	A	学年や分掌等で、より積極的に地域の教育力を活用します。	A	A	A	A	メール連絡網への加入率が高まっているので、きめ細かな情報発信を続けます。	
	16 家庭、地域社会に貢献できる活動をしていますか。	㉔ 学校の施設開放や、生産物を家庭や地域に還元できる行事を年3回以上実施する。	年2回のファームフェスティバルの他、地域清掃活動や地域交流、もの作り貢献などコースの特徴を考えた活動を実施します。	A	B	保護者の方々への広報を充実させ、参加率の向上を図ります。	A	A	A	A	A	ファームフェスティバルにおける事前販売を工業系保護者へも更に広げます。

羅 針 盤			達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題				
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②	総合							
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 学系別くり募集を導入し、生徒のニーズに対応した教育を実践していますか。	① 自分の学校が好きだと感じている生徒が80%以上である。	A	B	A	本校の教育目標である、「地域に根ざした特色ある専門高校の創造」を達成するため、学年、学系、コース、各分掌において計画的で積極的な教育活動を展開してきた。一人一人の生徒が自己の存在を肯定し、将来に向けて夢を持てる取り組みと、指導を徹底した結果、生徒、保護者、地域ともに本校に対する信頼感が増し、様々な場面で好循環を生み出している。具体的な成果として、新聞やテレビなどのマスコミに取り上げられた件数が200件を超え、学期末などに行う諸表彰の該当者は延べ人数で300名を超え、在籍者に対する割合は実に6割に達した。また、出席率においても県内でも上位に位置し、1学期皆勤者は全校生徒の4分の3以上に達した。	文化祭に招待され参加したとき、生徒達がとても活き活きと楽しそうに活動しており、生徒達の充実した学校生活を象徴していると感じた。また、新聞などでも利根実の事が多く掲載されており、生徒達の努力が形となっていることを思うと嬉しくなり、新聞を見るのが楽しみである。さらには、大河ドラマの「真田丸」で、全国的に注目されている沼田城について、その模型の修理に本校の生徒達が携わっていることが嬉しい。完成したら見に行きたい。	今年度の成果に満足することなく、地に足の着いた教育活動を、生徒と教職員が一体となって推進していきたい。一部生徒保護者の中には、学校が外見を取り繕うために過度な期待や目標を押しつけているという意見もあるので、相互理解を深めた上で、本校の特色を更に高めて行きたいと考える。				
	2 生徒の主体的な学びを引き出す課題研究を行っていますか。	② 学系、コースの学習活動に対して、主体的に取り組めたと自己評価し、かつ満足感を持つ生徒が80%以上である。 ③ 生徒が学習や研究の成果を発表できる機会を年1回以上設定し、コミュニケーション能力を備えた社会人の育成を目指し、達成感を持つ生徒が80%以上である。	B	B	B							
	3 主体的な進路選択を実施するために、進路セミナーや職場見学を積極的に取り入れていますか。	④ 進路セミナーや企業又は上級学校の見学を実施し、進路意識が高まったと感じる生徒が80%以上である。	A	A	A							
	4 地元企業や地域と連携し学校外実習や体験学習を積極的に実施していますか。	⑤ 利根実版デュアルシステムや、長期現場実習、小中学校との交流活動・出前授業などに満足感を持つ生徒が80%以上である。	A	A	A							
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	5 基礎・基本の定着を図る指導が充実していますか。	⑥ 授業が理解でき、学習に対する満足感・達成感を持つ生徒が80%以上である。 ⑦ 授業時間以外に、予習や復習に取り組む学習時間がある生徒が50%以上である。	B	B	B	少人数指導や、時間外の学習指導など、きめ細かな取り組みを行ってきた。その成果として、長期欠席者を除き、成績不振で原級留置となる生徒は出ていない。ただし、家庭学習について習慣が定着していない課題が浮き彫りとなった。	家庭学習を行っている生徒の数が乏しいことが課題との事であるが、「授業に満足」している生徒は6割である。この6割という数字は生徒達の学習意欲を示しており、この年代としては素晴らしいことである。このことから、家庭学習の習慣化が必要であり、そのためには中学校との連携が大事であると思われる。	家庭学習の習慣を植え付けさせるためには、本校生徒の現状合わせた、取り組みやすい課題設定が必要であるので、量やレベルを検討し、実施したい。				
	6 資格取得に積極的に取り組んでいますか。	⑧ 各種検定や、資格取得に取り組む生徒が全体生徒の80%以上である。	B	C	B							
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	7 組織的・継続的な生徒指導を行っていますか。	⑨ 問題行動で指導される生徒が前年度比の50%以下である。 ⑩ 不登校や転学者、退学者が前年比の50%以下である。 ⑪ いじめ発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	B	B	A	本年度も「あいさつ、清掃、整理整頓、身だしなみ、時間厳守」を生活目標に継続的な指導を行った。多くの先生方の協力により、問題行動件数は昨年度に比べ減少した。特別支援教育や教育相談は確実に充実している。「不登校対策委員会」をはじめとした情報交換を大切に、早期対応を徹底したい。学校全体として多くの部活動を活発にすることが必要であると感じている。しかし、一部の部活動に頼っている現状があり、改善には至っていない。	いじめについて、保護者からのアンケート情報は重要であり、その割合が3.7%であることは、非常に少ない数字であり、良い意味で素晴らしいことだと言える。その上で、この数字を踏まえ、今後もいじめ防止対策にご尽力いただき、いじめの発生を防止していただきたい。	各系、科、コースの特色を活かし、生徒が主体的に活動できる授業づくりをめざし、校内技術検定の導入や資格取得補習等の実施の効率化を進めていた。また、コンピュータの更新や工業系の新しい機械等が導入され、今までにない教育活動が行えるようになり、農業・工業の連携から、それぞれの専門性を一層高めることができる協力体制が構築され、各種大会や資格取得等で大きな成果を上げることができた。来年度、更に企業や地域との連携を強めていける取り組みを実施し、生徒の社会性や人間性を磨き、進路意識を高めた。				
	8 日常的に生徒が自分自身の健康管理を行っていますか。	⑫ 自分自身の不注意により、怪我をする生徒や体調不良を訴える生徒を、前年比の90%以下にする。	A	A	A							
	9 生徒は規則正しい学校生活を送っていますか。	⑬ 1カ年皆勤者が生徒数の30%以上である。	B	B	B							
	10 生徒の健康状態に対する適切な指導を行っていますか。	⑭ 治療勧告を受けた生徒のうち、早期に専門医による治療や検査を受ける生徒が50%以上である。	B	B	B							
	11 充実した部活動が行われていますか。	⑮ 部活動に加入している生徒が80%以上で、その活動に満足している生徒が80%以上である。	B	A	A							
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	12 3カ年を通して系統的で計画的な指導を行い、生徒の希望に則した進路実現が出来ましたか。	⑯ 進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。 ⑰ 生徒の将来の志望について理解している保護者が80%以上である。 ⑱ 就職希望者の90%以上が年末までに採用内定する。進学希望者については、十分な学校研究を行わせ、出願した大学等に全員合格する。	A	B	A	3年生は進路実現に向けて積極的に取り組む姿勢が見られ、就職進学ともに希望する進路先に早期に内定・合格した。1,2年生においては、各種進路行事に真剣に取り組んでいた。一方で1,2年生で進路選択に悩む生徒が見られ、適切な時期に適切な内容の情報及び考える機会の提供を行う必要がある。	利根実を卒業された方々が、この利根沼田の企業や経済・文化の基盤を支えていると感じた。また、卒業後すぐに社会に出て活躍する生徒の育成という観点から、自ら起業し経営者になる教育も取り入れて欲しい。最近看護の分野に進む生徒が増え、頼もしく思っており、そのような基盤ができていくことが素晴らしいと思う。	3年間を通した系統的で計画的な指導を行うことはできてきたが、特に1,2年生の主体的な意識の向上にはさらに改善の余地がある。そこで、個人面談などの積極的な導入と面談資料の充実を図りたい。保護者の進路指導に対するアンケートなどを参考に、保護者が欲している進路情報を適切に提供し、家庭での進路に関する話し合いが活発になることを期待したい。				
	13 適切な進路情報を提供していますか。	⑲ 進路の手引きを年1回、進路だよりを定期的に発行する。 ⑳ 学校からの進路に関する配布物に目を通して保護者が80%以上である。	B	A	A							
	V 開かれた学校づくりに努めていますか。	14 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	㉑ 学校行事（PTA総会、学年別保護者会、学習成果発表会、学校公開）に積極的に参加する保護者が60%以上である。 ㉒ インターネットを活用した情報発信を月1回以上実施する。	A	A				A	保護者や、地域に対し常にオープンな学校であるよう、取り組みを充実させた。特に今年度は初の試みとして、学校公開を収納祭の日程と合わせ、授業参観の後、保護者に収納祭（生徒と一緒に焼き肉等）に参加してもらった。大変好評で、本校の教育活動への理解も深まった。	利根実のメディアへの取り上げられ方が素晴らしく、学習面や部活動・技術系・食品系など、多くの場所で評価されている。生徒一人ひとりに何かで活躍する場所があると感じる。これからも、どんな生徒にも芽が出るようにご指導をお願いしたい。	地域貢献として、ボランティア活動への参加や小中学校への出前授業や、幼稚園や保育園、特別支援学校との交流活動を更に推進し、地域の教育力についても引き続き活用していきたい。
		15 家庭、地域社会の教育力を活用していますか。	㉓ 地域の教育力を積極的に活用し、保護者や地域社会の方を講師とした講演会などを年3回実施する。	A	A				A			
	16 家庭、地域社会に貢献できる活動を行っていますか。	㉔ 学校の施設開放や、生産物を家庭や地域に還元できる行事を年3回以上実施する。	A	A	A							